

日本心エコー図学会 教育委員会 地方における小規模講習会に関する報告

2015. 10. 27

教育委員会では、若手医師への心エコー図学の普及・啓蒙に努めるため、大都市圏以外での小規模講習会を行うこととした。2013. 10月にまず第1回目のモデルケースとして福島県の研修医等を対象としたハンズオンセミナーを開催した。2013. 2014年に引き続き、2015. 10. 24に福島県の研修医等を対象としたハンズオンセミナーを企画・開催したので報告する。

1) 概容は以下の通り。

セミナー名：平成 27 年度福島県臨床研修病院ネットワーク レジデント・スキルアップセミナー
「心エコー図法を自分の武器にする!」～スペシャリストから学ぶ心エコー図法～

主催：福島県、福島県臨床研修病院ネットワーク

共催：日本心エコー図学会

企画：日本心エコー図学会 教育委員会

事務担当：福島県臨床研修ネットワーク事務局（セミナーの告知、参加受付、会場手配含む）

日時：2015 年 10 月 24 日（土） 9：30～ 16：30

場所：福島県文化センター 会議室兼展示室（公的施設）

対象：福島県内の初期研修医（専攻医も可）

参加者：定員 30 名に対し、36 名の申し込みあり。当日参加 34 名、欠席 2 名（出席率 94. 4%、初期研修医 1 年目 27 名、2 年目 7 名）。

内容：初心者を対象とした心エコー図法の講義とハンズオン

エコー装置：6 台（エコーメーカー 2 社のご厚意により無料貸し出し）

被検者：健常者 6 名

2) 予算について

本セミナーは福島県の医師確保のための「福島県地域医療人材育成事業（福島県地域医療再生基金）」の予算から支出されており、全額福島県の負担である。参加者からの参加費徴収はない。

講師に対しては福島県以外の講師に対して、県の規定に沿った講師料が支払われた。また、交通費は福島市以外からの講師に対して交通・宿泊費が支払われた。

3) プログラム

2 つのセッションにわけ、午前中は基本的な内容として、15 分程度の講義とそれに引き続きハンズオンを行った。午後はより臨床的な内容とし、講義の後、救急外来で使う場合を想定してハンズオンを行った。また、福島県という地域性を考え、甲状腺エコーに関するハンズオンも一部組み込んだ。さらに、最後の講義では心エコー図学の魅力を伝えるべく、今後の心エコー図学の発展性について話をした。なお、参加者には事前課題として基本断面の描出などを課し、準備を促した。

9:30	開会の挨拶 日本心エコー図学会副教育委員長挨拶	大谷晃司(福島医大医療人育成・支援センター) 高野真澄(福島医大)	
セッション 1	9:35～12:05	心エコー図法の基本を識る 心エコー図の基本断面の成り立ち 基本断面の描出と EF(シンフゾン法)	座長 高野真澄(福島医大) 演者 渡部朋幸(わたり病院)
	9:35～9:50 15分		
	9:50～10:25 実習		
	10:25～10:40 15分	ドブラ法の基本	演者 伊藤記彦(東北大学病院)
	10:40～11:15 実習	カラー、PW、CW の使い方を習得	
	11:15～11:30 15分	ドブラ法を使って心不全を評価する	演者 藤田雅史(みやぎ県南中核病院)
	11:30～12:05 実習	E/A、E/E', TR-PG	
	休憩		
セッション 2	13:10～15:10	臨床現場で心エコー図法を使う 壁運動異常をよむ 心不全かどうかを判断する	座長 渡部朋幸(わたり病院) 演者 伏見悦子(平鹿総合病院)
	13:10～13:30 20分		
	13:30～13:50 20分	救急外来での使い方	演者 高野真澄(福島医大)
	13:50～14:10 20分	救急外来を想定して心エコー図を撮る	演者 菅原重生(日本海総合病院)
	14:10～15:10 実習		
セッション 3	15:10～16:20	様々な場面で超音波を使う 甲状腺エコーを学ぶ 甲状腺エコーを撮る	座長 渡部朋幸(わたり病院) 演者 鈴木真一(福島医大)
	15:10～15:25 15分		
	15:25～16:00 実習	いつ・どこで・どんな時、超音波を役立てるか	演者 高野真澄(福島医大)
	16:00～16:20 20分		
16:25		閉会の辞	大谷晃司(福島医大)

4) 指導者について

講義は教育委員会から3名、福島県の代議員1名、東北地方の専門技師2名が担当した。ハンズオンは6グループで、1グループあたり参加者6名に対して、指導者2名の体制とした(福島県内の心エコー図学会認定専門技師・超音波検査士6名が指導者として参加)。

5) 参加者からのアンケート結果について(詳細は別紙参照)

1. 2013年からの年次推移で1年次研修医の比率がさらに多くなったが(66.7%→76.7%→79.4%)、エコー経験が全くない参加者は34%→19%→13%とさらに減少した。1年次研修医では、事前課題を出したことで心エコーの経験値をあげられたこと、2年次研修医では昨年のセミナー開催後、心エコーを行う研修医が増えたため、全体として日常臨床で心エコー図を行うことが多くなったことが考えられる。
2. 講義内容はちょうど良いが79%、実習内容はちょうど良いが94%であった。実習時間はちょうど良いが56%、短い41%であった。
3. セミナー全体としては、「良かった、とても良かった」が94%、今後同様のセミナーに参加したいかという問いに対して「参加したい、是非参加したい」が91%であり、過去2回に引き続き非常に好評であった

6) 参加者からの感想

- ・ハンズオンと講義のバランスもちょうど良かったと思います。
- ・もう少し実習時間が欲しかったです。来年も同様のセミナー期待しています。
- ・asynergyの評価が参考になりました。
- ・壁運動が難しいです。
- ・技師さんがサポートして下さったのですが、もう少し自分で出せるようにして欲しかったです。
- ・講義の内容が、症例がたくさんあり、救急外来を想定していたりと実践的で大変良かったです。実習時間が短いのはやむをえないと思いますが、ある程度予習していくことで少し対応できました。
- ・救急シミュレーション形式での演習は、いざという時、手が、頭が固まるとは思いますが、良い練習になりました。最後のまとめの話は、今日教わった身に付けたい手法の先のエコーの可能性が感じられて良かったです。
- ・初めてE'を測定できて嬉しかったです。循環器内科志望なのでとても勉強になりました。

7) 指導者からの感想

- ・毎年参加する研修医も熱心で、こちらいろいろと教えてあげたいセミナーと感じています。日々の救急や循環器診療のレベルアップはもちろん、研修医が循環器を志望してくれるきっかけにもなってくれればと思います。
- ・今回このセミナーに参加させて頂き、教える・伝える難しさを改めて知り、大変勉強になりました。
- ・研修医が抵抗なくプローブを持つことが出来るきっかけになればいいかなと思います。

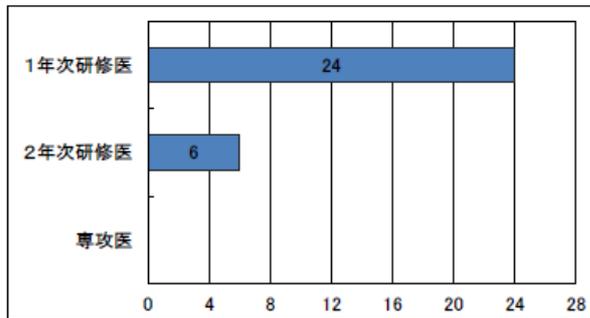
8) まとめ

過去2回に引き続き、主として初期研修医を対象にした心エコー図ハンズオンセミナーを開催した。3回目の開催で円滑な運営が可能で、参加者には事前課題を出したことで、有効な実習が可能であった。研修医のレベルアップの観点からは、昨年よりも参加者のレベルがアップしていると感じられ、さらに研修医が心エコー図を行う機会が増えていることがアンケート結果から明らかとなった。地域の組織との連携をはかりながら、継続した本セミナーの開催は有効であると考えられた。

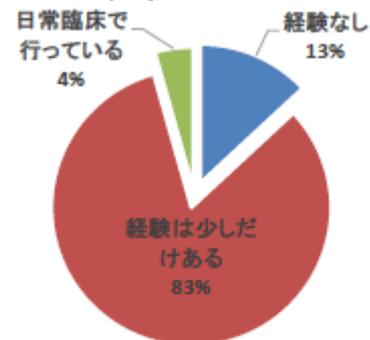
(文責:福島県立医科大学 高野真澄)

平成27年度福島県臨床研修病院ネットワークレジデント・スキルアップセミナー
アンケート集計: 参加者 34名 回答者 34名 回答率 100%

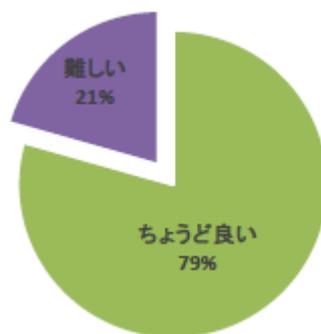
1. 職種



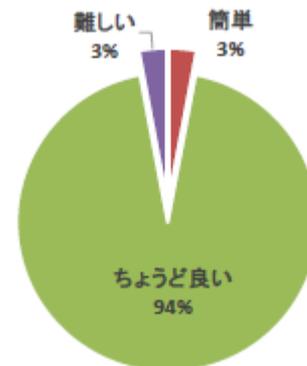
2. 心エコー経験



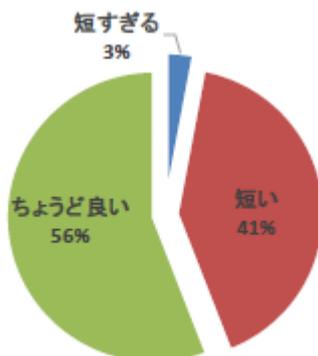
3. 講義内容について



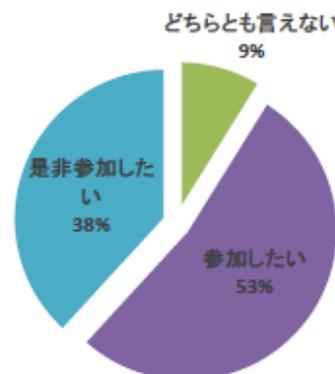
4. 実習内容について



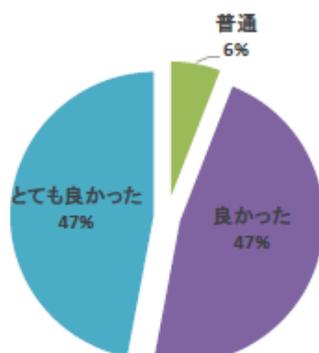
5. 実習時間について



6. 今後、同様のセミナーがあれば参加したいですか？

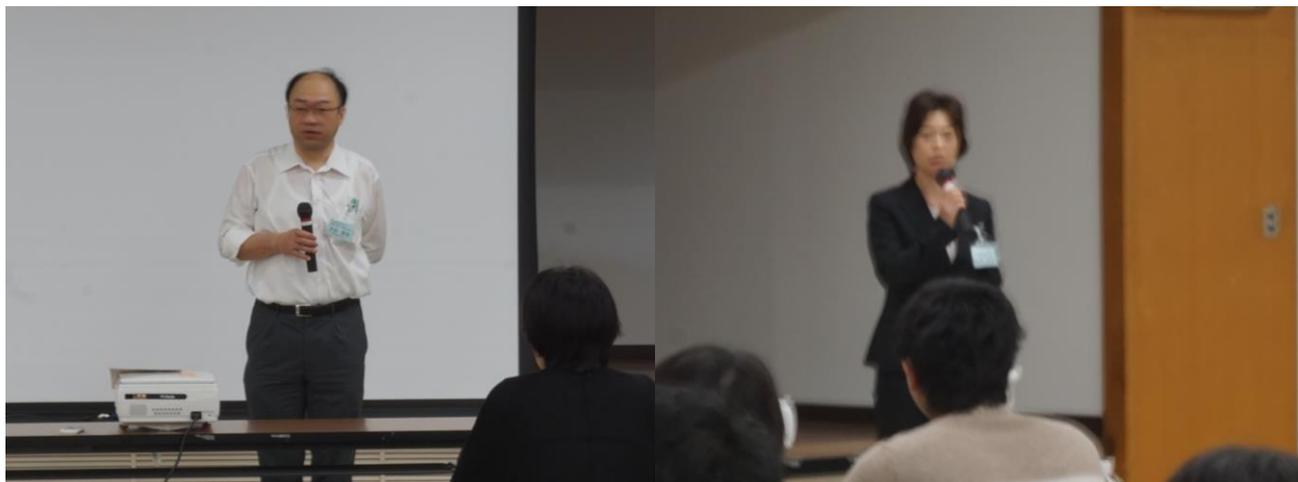


7. セミナー全体の満足度について



平成27年度福島県臨床研修病院ネットワークレジデント・スキルアップセミナー
「心エコー図法を自分の武器にする!」
～スペシャリストから学ぶ心エコー図法～

主催： 福島県、福島県臨床研修病院ネットワーク
共催： 日本心エコー図学会
日時： 2015年10月24日(土) 9:30～ 16:30
場所： 福島県文化センター







写真掲載にあたっては参加者の許諾を得ております